先進的な取り組みを行っている
東久留米市 氷川台自治会（355 世帯 高齢化率 33.4%）

紹介します！！

多岐にわたる事業を展開している氷川台自治会の活動を、シリーズでお伝えしていきます。（空き家対策など）今回は、「買い物支援」についてお伝えします。

地域の課題…東久留米市は、東京都多摩地域東部にあります。氷川台自治会は、道路が狭く、坂があり、住宅地と公共施設・医療施設、商店街、駅を結ぶ交通機関が無い交通不便地域で、高齢者は、日常的にタクシーを利用しないと不便な地域です。

交通不便地域こその発想！高齢者の買い物支援

～自治会と障がい者施設が手を結び実現へ！！

氷川台自治会は、高齢者の利便性を確保するために、日頃からお付き合いのあった障がい者施設のワゴン車を使用し、自治会会員の運転による外出支援サービスを行っています。

取組名称	高齢者移動お助け隊
取組内容	週１回、毎週火曜日
対象者	氷川台自治会の高齢者 （75 歳以上で、独り暮らしの方や高齢者のみ世帯）
運行コース及び時間	午前 10 時発：自治会（公園前）～ 駅 ～ イトーヨーカ堂 ～イオン 午後　２時発：イオン ～ イトーヨーカ堂 ～ 駅 ～自治会（公園前）
利用料金	ガソリン代等の実費負担。行先、利用人数により変動あり。 １回あたり 100 円～300 円
利用方法	事前予約制（定員６名） 自治会見守りネットワーク委員会事務局へ申込む。

◆買い物支援 利用者の声

今後の生活に楽しみが増えました。

ネットスーパーや宅配弁当に頼っていたけど、献立を考えながらの買い物って楽しい。

我孫子でも広がりを見せる
住民による外出支援サービス

市内の自治会でも、高齢者の外出を支援する動きがあります。
今回は、まち協と自治会が手を結び活動している事例を紹介します。

〔1〕まち協と住民による外出支援サービス

～助けあい・支え合いの地域活動

地域	久寺家地域　久寺家１・２丁目の高齢者
取組名称	買い物同行支援（久寺家お助け隊事業の一部サービス）
取組内容	随時実施
対象者	65 歳以上の独り暮らしの方や高齢者のみ世帯　※独り暮らし高齢者優先。 （今後）土谷津地域を検討中。
運行コース	高齢者宅へ自家用車で迎え　➔　イトーヨーカ堂（店内ではカートを押し買い物支援 ➔ 荷物を車まで運ぶ） ➔ 自宅へ
利用料金	１時間 500 円
利用方法	支援担当者と直接連絡。支援を必要とする方、支援する方、共に登録制。
保険について	運転者は、自分の自動車保険で対応。 同乗者は、市社協の送迎サービス保険に加入。
支援を始めるきっかけ	坂が多い地域で、買い物に行くのが容易ではない。 少しでも手助けになればと。

〔2〕行政に頼らない「民民」の支え合い！

～企業は無料でバス提供、町内会は介助で支援

地域の課題…急勾配の丘に広がる住宅地。30～40 年前に移り住んだ人が多く、高齢化率が 25.8%。直線距離で 500m先のバス通りには店が並ぶが、高齢者が荷物を抱え歩くのには大変な地域。

地域	福岡市南区柏原２丁目　柏原東町内会
取組内容	月１回
対象者	70 代～高齢者
運行コース及び時間	スーパーなど３店舗を 30 分ずつ巡る
利用料金	無料（運転手の人件費、燃料費は葬儀社が負担）
町内会の役割	荷物運び等、介助役を担う。

先進的な取り組みを行っている 東久留米市 氷川台自治会（355 世帯 高齢化率 33.4%）

第 2 弾　空き家対策

　前回に引き続き、多岐にわたる事業を展開している氷川台自治会の活動を紹介していきます。今回は『空き家対策』についてです。

空き家の問題…平成２５年度に総務省が行った住宅・土地統計調査結果で、空き家総数が820 万戸、空き家率 13.5%と報告され、現在も増え続ける空き家ですが、団塊の世代が７５歳を迎える「２０２５年問題」の医療・介護の問題と共に地域の大きな問題になっています。

「空き家・空き地」を地域資源と捉えて活用！ 収穫された野菜は地産地消！！

　氷川台自治会では、「空き家・空き地」を地域の資源として、空き家問題を行政に頼らず、持ち主に直接交渉し、自治会が管理することを条件に、無償で借り受け活用しています。

４つの活用	①氷川台農園 ②道の駅ひかわだい ③青空マルシェ ④季節イベント
目　　的	高齢者から子どもまで幅広い層の「ふれあいの場」として「空き地・空き家」を活用し、住民同士が顔を合わせる機会を増やし、地域のコミュニティ構築を図ること。 また、子ども達に「土にふれる楽しさ」を教えること。
内　　容	①農園は、ほぼ毎日農園を見回り、育成や収穫に励む。 ②収穫した野菜は、農園前の「道の駅ひかわだい」（自治会自主運営）で無人販売。（一袋 100 円） ③青空マルシェは、空き店舗前で、月２回、地元の農家が新鮮野菜を地域住民に販売。 ④季節ごとに「じゃがいも堀」、「さつまいも堀」、「夕涼み会」などのイベントを開催。
活 動 者	氷川台農園：自治会会員有志。　イベント：自治会役員
効　　果	イベント等の参加者の口コミで若者の移住も増え、高齢化率も減少し、地域コミュニティ溢れる地域に変わった。

我孫子市の空き家対策！空き家バンク

借りたい！買いたい！を市が橋渡しします。

我孫子市の空き家等の有効活用などを目的に空き家を貸したい・売りたい所有者の方の物件を市に登録し、市は国が運営・構築する「**全国空き家・空き地バンク**」等にその情報を公開します。

その情報を見て、借りたい・買いたいという利用希望者と所有者等との橋渡しを市と市内の宅地建物取引業者が協力して行います。（市 HP より）

※登録には、条件等がございますので下記へお問合せください。

問合せ　我孫子市役所　宅地課　住宅担当　☎（７１８５）１１１１　内線６０１

マイホーム借上げ制度を活用して空き家を減らそう！！

我孫子市では、シニア世帯、子育て世帯などの住みかえ支援と、空き家の有効活用などを目的として、「**一般社団法人移住・住みかえ支援機構（JTI）**」と連携し、「マイホーム借上げ制度」を通じた住みかえ支援事業に取り組んでいます。

マイホーム借上げ制度とは・・・

50 歳以上のシニア世帯を対象にマイホームを借上げ、賃貸住宅として子育て世帯などに転貸するシステムです。この制度により、シニア世帯は自宅を売却することなく、住みかえや老後の資金として活用することができます。

また、子育て世帯などは、相場よりも安い家賃で良質な住宅を借りることができます。

また万が一、借り手がつかない時も賃料を保証。空室時も安定した賃料収入が見込めるという利点があります。（市 HP より）

制度利用に関する詳細は、移住・住みかえ支援機構までご相談ください。

☎０３－５２１１－０７５７

受付時間　午前９時～午後５時（祝祭日・夏季休業・年末年始除く）

先進的な取り組みを行っている
東久留米市 氷川台自治会（355 世帯 高齢化率 33.4%）

第 3 弾　見守り・防犯

　前回に引き続き、多岐にわたる事業を展開している氷川台自治会の活動を紹介していきます。
今回は『**見守り・防犯**』についてです。

防犯の問題…近年、自治会組織や地域の防犯ボランティアによる、自主防犯活動が様々な形で盛んに行われていますが、地域の実情に応じた防犯の強化、活動者の確保、活動の効果を高める環境整備等が課題となっています。

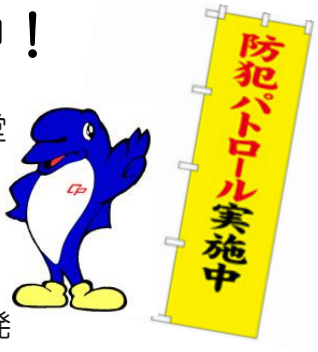
地域の団結力で
犯罪者を近づけない“まちづくり„！！

　氷川台自治会では、“安心・安全で暮らしやすい町”を目指して、平成２４年５月から防犯活動を実施しています。

３つの活動	① 防犯ウォーキング　②わんわんパトロール（ご褒美付き） ③ 愛のひと声運動パトロール(東中青少協と合同実施)
活動目的	・災害に強く、安心・安全で暮らしやすい地域にする。 ・通学路の安全確認。 ・子ども達への声掛け、また、子ども達を守り育てるために魅力ある地域社会にする。 ・参加する子どもたちは、友達や大人と触れ合い社会のルールを学ぶ場にする。 ・自治会内のゴミ拾い。
活 動 日	① と ③ 水曜日と土曜日の１７時から　約５０分間 ② 毎朝・夕（仲間同士誘い合って実施、リード標とバンダナ着用）
活 動 者	① 自治会員（子ども含む）② 自治会員と犬 ③自治会員・東中青少協（ ※1）・民生委員・わんわんパトロール・警察官 （※1 我孫子…少年指導員）
効　　果	地域の治安が保たれ、子どもたちから声をかけてくれるようになったり、活動中に高齢者に声掛けをして「見守り」の役をなしたりで、周りから認められ参加者も増えてきました。

日常的に防犯活動が行われている地域は、侵入犯罪の抑制につながり、効果が表れているようです！
氷川台自治会でも、年３～４回あった空き巣被害が影を潜めたそうです。

市内５つの高校で構成される
防犯ボランティア活動隊が活躍中！



市内５つの高校（我孫子高校・我孫子東高校・湖北特別支援学校・我孫子二階堂高校・中央学院高校）の生徒による”我孫子地区高校生ボランティア活動隊「ABIKO Young-Savers☆」（我孫子ヤングセイバーズ）が、我孫子市防犯協議会・我孫子警察署などの支援を受けながら、防犯キャンペーンなどの防犯啓発活動を定期的に行っています。「ABIKO Young-Savers☆」は、若い力で我孫子の防犯を考えてくれる頼もしい防犯ボランティアです。

地域で若い力を借りて一緒に活動したい！という自治会の皆さん、学生は予定が合えば、地域の力になりたいと思っています！
まずは、お近くの学校へご一報ください。（夜間などの活動制限あり）

≪問合せ先≫　我孫子高校：7182-5181　我孫子東高校：7189−4051

湖北特別支援学校：7188-0596　　我孫子二階堂高校：7182-0101　中央学院高校：7188-1101

防犯カメラを活用して、地域の安全確保！

我孫子市では、地域の防犯活動の一環として、防犯カメラを設置する地域団体に対し予算の範囲内において、<u>設置費用の一部を補助</u>しています。

◆補助対象となる団体◆

市内の町会・自治会、商店会、事業所、 私立保育園・幼稚園、自主防犯活動団体等。
※マンション管理組合等、特定の建物やその敷地、駐車場等の管理を目的としたものは対象外。

◆補助対象となる防犯カメラ◆

補助の対象となる防犯カメラは、<u>撮影区域の２分の１以上の面積が公道（不特定多数の車両や人が通行する場所）</u>とし、対象となる費用は、防犯カメラの設置に必要な経費とします。（その他、条件あり。）

◆補助金の額◆

補助金の額は、防犯カメラの設置に必要な費用の２分の１以内とし、限度額は １ 台につき 20 万円とします。（※千円未満の端数がある場合は切り捨てた額）
（内容、市ホームページ抜粋、補助金を受けるためにはその他、条件あり。）

ポイント **上記以外に条件や注意事項があります。自治会便利帳９ページにも詳細掲載あり。**
補助金申請する前には事前協議が必要な事業となっていますので、併せてご注意ください！
※市と事前協議の手続きを行わず、先に設置してしまった場合は補助の対象となりません。

問合せ：我孫子市役所 市民安全課　７１８５−１１１１（代表）

知って得する！！

自治会活動に対する助成事業について

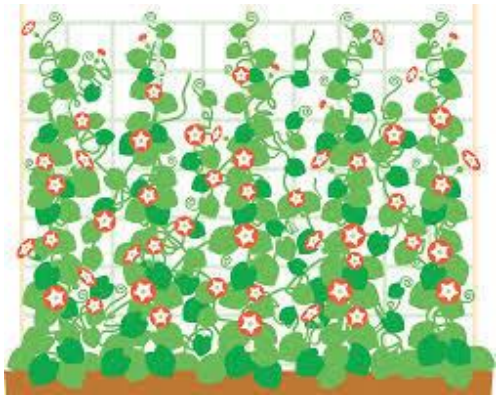
　自治会の【環境・美化】を目的に「コメリ緑育成財団」へ助成金の申請ができます。
自治会の住民が気持ちよく外出できるよう、草花で自治会内を飾ってみてはいかがでしょうか。

「公益財団法人 コメリ緑育成財団」とは・・・(株)コメリ(本社・新潟市)が“私たちの暮らす町が緑豊かなふるさとであってほしい”緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした活動に企業利益の１%を原資に社会貢献している助成金制度です。

助成対象となる活動分野

①緑化植栽活動
　花や緑にあふれるふるさとづくりを目的とした、
　道路沿いや公園隣地などで行う「花いっぱい運動」など、地域住民が自ら行う植栽活動。

②自然環境保全活動
　緑豊かなふるさとづくりを目的とした、
山林や河川敷、里地里山などで行う自然環境の保護保全活動や整備、植樹活動。



公募期間：2019 年度分は、昨年の８月１日～10 月 31 日でした。
　　（来年度分は未発表、ホームページに掲載予定）

申込方法：所定の申込書に必要事項をもれなくご記入の上、
　　必要書類とともに公益財団法人コメリ緑育成財団事務局へ送付。（Ｆａｘ、メール不可）

選　　考：①活動場所が公に開かれており、多くの人にメリットをもたらす活動
　　②域住民が一体となって実施する活動か
　　③活動の目的、ビジョンが明確か
　　④計画が具体的で無理なく実施できる活動か

過去に助成を受けた団体の主な活動（一部紹介）

・自治会内のきずなを深め協力体制を築くために、花壇整備と清掃や除草活動を行う。
・公民館前の公園にある花壇へ四季折々の花苗を植え行き交う人々の心を癒す。
・取香川右岸堤防へマンジュシャゲの植栽を実施し、日本の里地の景観形成を行う。
・ハケの道に連続性のある植栽を行い、住時の魅力を復活させる。

（※H28 年度　我孫子市景観形成市民会議）

助成金の使用について

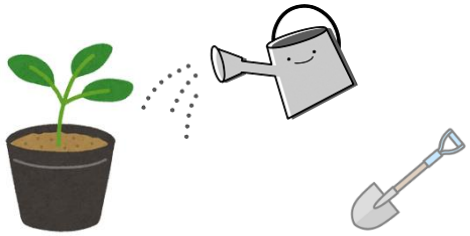
助成金の使用は申請された活動に限定し、対象となる費目は以下の通りです

緑化植栽活動

対象となる費目
・花木費（樹木・苗・種・球根など）
・資材費（鉢・プランター・肥料・用土・農薬・マルチ・防草シートなど
・植栽道具（移植ゴテ・ジョウロ・スコップ・鎌・鍬など）

自然環境保全活動

対象となる費目
・材料費（樹木・苗・種・球根など）
・資材費（肥料・用土・農薬・杭・木材など）
・植栽道具（移植ゴテ・ジョウロ・スコップ・鎌・鍬など）
・備品費（保護保全に必要な機械・道具など）



申込・問合せ先：

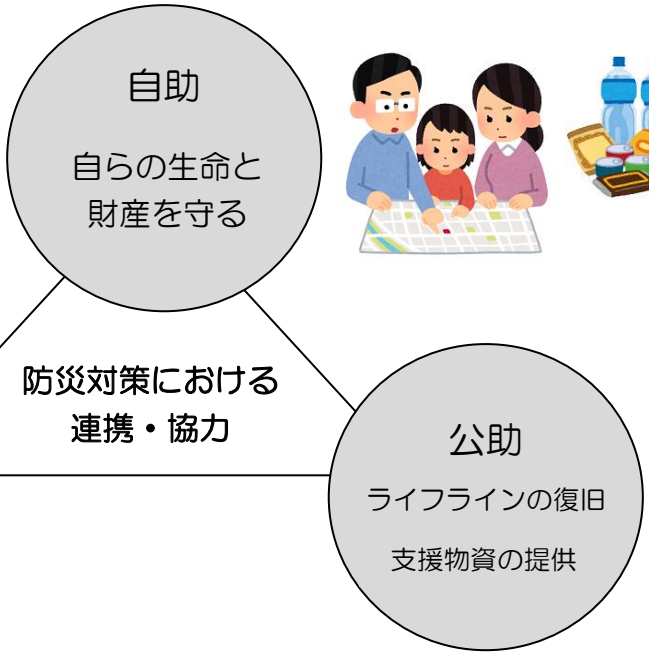
〒950-1457
新潟県新潟市南区清水 4501-1
公益財団法人コメリ緑育成財団　事務局
TEL：(025)371-4455
FAX：(025)371-4151
E-mail:midori@komeri.bit.or.jp
URL：http://www.komeri-midori.org/
㈱コメリ ホームページから引用

詳細は、「公益財団法人コメリ緑育成財団」のホームページをご覧ください。

自治会で出来る避難行動要支援者への対応
地域住民で支え合い防災・減災活動を！

災害とは、地震や風水害など様々なものがあり、それぞれの対応方法や備えが必要です。
また、災害などが起きた直後は、初動に時間がかかる「公助」よりも「自助」と「共助」が重要です。平常時から、近隣との顔の見える関係づくりで減災に繋がります。

自助・共助・公助のイメージ



◆災害時の支援は、日頃からの関係づくりが大切！

普段から取り組んでいないことは、緊急時にはできません。日頃から十分な対策を講じることが大切です。

平常時

- → **顔の見える関係づくり**…日頃からの声かけ、あいさつや見守り、訪問を実施。
  支え合いの輪に、要支援者自身から入っていただくように心がける。
- → **情報の整理・収集**…要支援者情報の整理や町内の危険ケ所などの情報を収集。
- → **助け合いの体制を検討**…安否確認や支援方法、情報伝達方式などを話し合い、共有しておく。
- → **いざという時に備えて確認・訓練**…避難ルートの確認や訓練を実施。

災害時

→ **ご近所同士助け合って安全に避難**…災害情報伝達・安否確認・救出救護・避難誘導

出典：横浜市健康福祉局　災害時要援護者支援のための 取組事例集

我孫子で災害が起きたら！

地域住民の方にお願いしたい主な支援とは・・・。

まず第一に自分や家族の身の安全を確保してください。

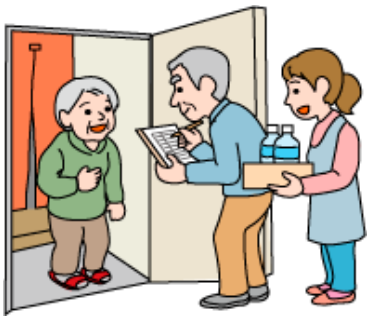
◆情報伝達

… 避難行動要支援者には、「自分の身に危険が差し迫った場合、それを感知する能力がない人」や「危険を知らせる情報を受け取ることができない人」等が含まれることから、地域を中心とした電話や訪問による直接的な伝達が効果的です。

（例）避難行動要支援者名簿を活用し、速やかな情報伝達

◆安否確認

…災害発生直後は、市、消防、警察等による支援体制が整うまでには一定の時間を要します。
安否確認・避難誘導は自治会等が中心となり、支援団体の人たちの協力によって対応していただくことが必要となります。



◆避難支援

…自宅の半壊や避難準備情報の発令などにより、自宅に留まることができない場合に、ひとりや家族の支援のみでは避難が困難な方に対して、避難場所等安全な場所までの避難の支援をお願いします。

平常時から顔の見える関係づくりが、やはり大切！

先月、千葉県に上陸した台風15号は県内各地で大きな爪痕を残し、多くの方が被災されました。被災地では、隣近所と復旧に向けて手を取り合い、助け合い頑張っています。

これも日頃から、隣近所のお付き合いがあるからこそのこと。突然、交流のない隣近所と協力体制を築くのは難しいです。災害を想定し、日頃から顔の見える関係づくりを心掛け、声かけ、あいさつ、見守り、訪問などを行って、万が一に備えたいものです。

災害時の安否確認の方法を工夫するなど、自治会ごとに決め事をつくっておくのも良いですね。

出典：我孫子市避難行動要支援者避難支援の手引き

住民の「やってみたい！」「地域を盛り上げたい！」の気持ちが現実に！

岩手県の最南端に位置する一関市の藤沢町。藤沢第 31 区自治会は、46 世帯 161 人が暮らす中山間地域です。近年、自治会館に人が集い交流できるように様々な事業に取り組んでいます。（平成 29 年７月のデータ）

住民の声でうまれた飲みニケーション（コミュニケーション）「公民館（自治会館）居酒屋」

平成 27 年から、自治会の女性部を中心に自治会館を使って「公民館居酒屋」事業をスタート。地域を盛り上げたいという女性の声から始まり、昼間は料理教室、その後は居酒屋と七変化！

男性陣も会費を持って自治会館に集まり、みんなで料理やカラオケなどを楽しむコミュニティの場になっています。

また最近では、女性陣有志によるスコップ三味線芸術団を結成し、自治会外の行事に呼ばれるなど会員発案の活動が活発になり、地域を盛り上げています。

公民館居酒屋の様子

＜地域の高齢化や疎遠化が進み＞

高齢者が外出したり、交流する機会が少ない

そこで発案されたのが

公民館居酒屋

開　催　年２～３回　午後６時～９時まで
会　費　１，０００円（お互い持ち寄りもあり）
※会費は食材費など

事業を継続するポイント

●「お知らせはするけど、参加は強制しない。気持ちが前に出る活動でないと続かない。」と、自治会長さんが語っています。また、人が集まりやすいようにトイレも改修しました。

「公民館居酒屋」をとおして、高齢者の集まる時間「すずらんサロン」等、様々な事業がここで生まれたと言っても過言ではないかもしれません。美味しいお料理とお酒で住民の率直な意見が出たのかもしれませんね。先ずは、自治会の役員会に合わせて、交流する機会を設けてはいかがでしょうか。役員は大変な仕事という固定概念がなくなり、役員になると毎月楽しい！と、担い手不足が解消されるかも？！

楽しく参加できる自治会活動で
顔が見える関係づくりを目指しています！

同じく岩手県藤沢町にある、51 世帯 135 人が暮らす砂子田自治会。
自治会組織は、総務部・厚生部・体育部・女性部・老人クラブ・子供会育成会
6 つの班で構成し、小規模ながら様々な事業に取組んでいます。

住民のニーズを考えた企画で参加率アップ！！

季節ごとに開催する「健康づくり友の会」は、
地元の女性５名が中心になり、地域活性化をめざしています。

○減塩料理づくりやお味噌汁の塩分量測定、ニュースポーツ体験などを実施。
田舎料理は、味が濃いイメージがありますが、住民同士が健康づくりに
寄与しています。
○共働きで男性が台所に立つ家庭が増えてきたことから企画した「男の料理教室」
魚のさばき方など日常で役立つお料理術を交流しながら楽しく学べるとあり、
参加者が増えています。

「自治会事業計画カレンダー」を全戸に配付し、
行事に参加しやすい環境を整えています！

「砂子田自治会 事業計画カレンダー」に予定を集約することで、
活動日の重なりを防ぎ、年間予定を一目で確認できるようにしています。
カレンダーは役員・各部会議と運営委員会の二段階で協議し、完成した
ものを自治会内に全戸配布しています。

二つの自治会の活動を紹介しましたが、いずれの自治会も女性の発案で事業を行っているのが印象的でした。女性が自治会活動に積極的に参加し、発言し、女性の「やってみたい！」が実現した事業ばかりです。みなさんの自治会でも人材発掘をし、活動の担い手となってくれる方を探してみてはいかがでしょうか。多世代交流や定年された方の地域デビューを応援する事業なども良いですね。